

軽米風力発電所がみんな電力を通して 横浜市内の事業者に電力供給を開始

軽米町から初めて横浜市に再生可能エネルギーを供給

三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役 社長執行役員:柳井 隆博/以下、三菱HCキャピタル)のグループ会社で、風力発電事業を手掛ける、くろしお風力発電株式会社(取締役社長:石田 桂/以下、くろしお風力発電)が運営する「軽米風力発電所(岩手県軽米町)」は、本日、みんな電力株式会社(代表取締役:大石 英司/以下、みんな電力)を通して、横浜市内の事業者に対する再生可能エネルギーの特定電力供給を開始しました。三菱HCキャピタルグループとしては、よこはま風力発電株式会社に続く取り組みとなります*1。

横浜市は、脱炭素社会の実現をめざし、2050年までに脱炭素化を図る「Zero Carbon Yokohama」を掲げ、岩手県軽米町をはじめとする13市町村と再生可能エネルギーに関する連携協定を締結*2、再生可能エネルギーの地域間連携を図っています。

「軽米風力発電所」は、同連携協定に基づき、軽米町から横浜市内の事業者に電力を供給する、初めての再生可能エネルギー発電所です。くろしお風力発電は、みんな電力と「再生可能エネルギー電気の特定制供給に関する契約書」を締結し、みんな電力のブロックチェーン技術を活用した電源特定サービスを通して、脱炭素を図る特定非営利法人こらぼネット・かながわ、都筑開発株式会社など、横浜市内の事業者に電力を提供します。

「軽米風力発電所」は、軽米町が策定した「再生可能エネルギー発電の促進による農山村活性化計画」に沿って事業計画を進め、2021年2月1日に運転を開始しました。年間予想発電量は、一般家庭の約1,200世帯分の電力に相当し、約2,500トン*3のCO₂(二酸化炭素)排出抑制を実現する見込みであり、再生可能エネルギー発電による電力供給を通じた持続可能なまちづくりに貢献します。

三菱HCキャピタルは、2021年4月1日、三菱UFJリース株式会社と日立キャピタル株式会社の経営統合により、誕生しました。三菱HCキャピタルグループは、「社会資本/ライフ」「環境・エネルギー」「モビリティ」「販売金融」「グローバルアセット」を注力領域としています。再生可能エネルギー事業においては、グローバルにて事業の拡大を図るとともに、企業・地域が抱える問題を解決する新事業の開発を推進します。三菱HCキャピタルグループは、今後も脱炭素化に取り組む事業者への再生可能エネルギーの供給を積極的に推進、地域社会における再生可能エネルギーへの転換を支援することで、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

- *1: 2019年9月5日付ニュースリリース: 横浜町雲雀平風力発電所がみんな電力を通して横浜市内の事業者への電力供給を開始
<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/pdf/investors/hc/newsrelease/2019/20190905.pdf>
- *2: 2021年4月20日付横浜市ニュースリリース: 岩手県軽米町の再エネ電力を横浜市内事業者に供給開始「再エネ受給開始式」を開催！
<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/ondan/2021/0420press.html>
- *3: CO₂排出抑制量は、年間予想発電量から、地球温暖化対策の推進に関する法律をもとに三菱HCキャピタルにて算出

■軽米風力発電所 概要

事業者	くろしお風力発電株式会社
設置場所	岩手県九戸郡軽米町
運転開始日	2021年2月1日
発電容量	1,990kW×1基

■くろしお風力発電株式会社 概要

社名	くろしお風力発電株式会社
代表者	取締役社長 石田 桂
所在地	茨城県日立市幸町三丁目2番2号
設立年月日	2005年4月1日
事業概要	再生可能エネルギー発電事業
資本金	15百万円 (出資比率: 日立サステナブルエナジー株式会社 100%)

■日立サステナブルエナジー株式会社 概要

社名	日立サステナブルエナジー株式会社
代表者	取締役社長 石田 桂
所在地	茨城県日立市幸町三丁目2番2号
設立年月日	2016年3月1日
事業概要	再生可能エネルギー発電事業
資本金	50百万円 (出資比率: 三菱HCキャピタル株式会社 85.1%、株式会社日立パワーソリューションズ 14.9%)

■報道機関お問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社
 コーポレートコミュニケーション部
 〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
 TEL 03-6865-3002 (直通)

以上